



令和5年度 沖縄平和啓発プロモーション事業

うむい～命の対話～
つたえる・つなげる・のこす
報告書

沖縄県子ども生活福祉部
女性力・平和推進課

～わたしの平和～





📷 糸満中学校一橋本陽翠さん（JICA国際協力・交流フェスティバルにおいて「朗読：ひめゆり」の様子）

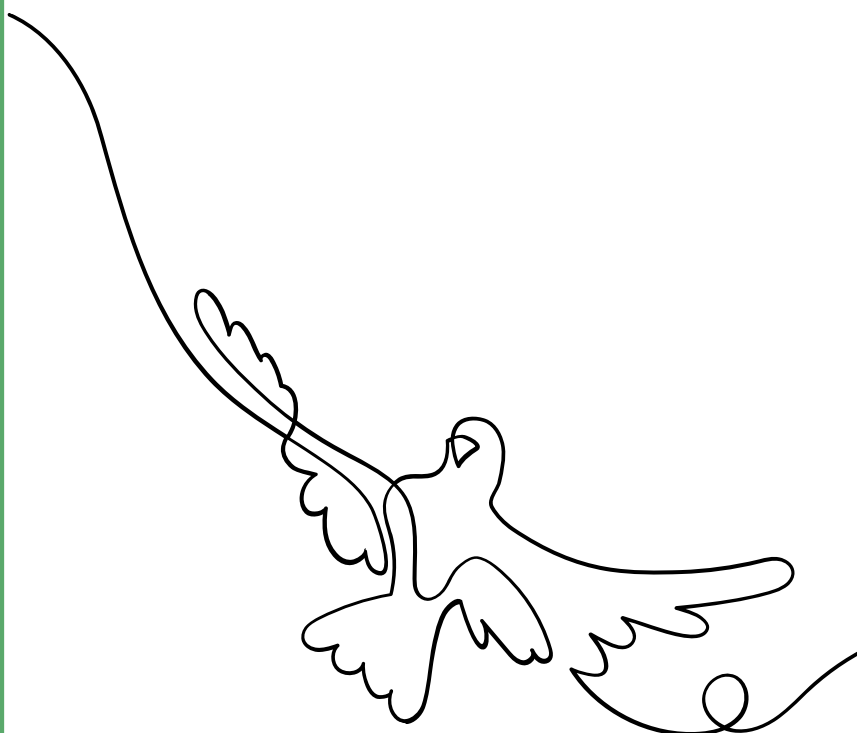
はじめに

平和を学び・想像し・考える

沖縄県内や県外での出前授業やイベントの開催等において、様々な方々とのパートナーシップにより、「対話」をとおして共に考え、作っていくことを大切にしました。

「平和の大切さ」を写真や歌から学び、朗読や追体験から感じ、想像しながら、「あなたが思う平和」「あなたにできること」を一緒に考えた取組でした。

本報告書は、本事業を通じて学んだことを、次世代へ継承したいと願い、また授業等で活用されることを願って作成しております。ダイジェスト版報告書やホームページもございますので、併せてご覧ください。



事業の視点

沖縄平和啓発プロモーション事業

本事業は、これまでに蓄積された沖縄戦体験談や資料を活用して、沖縄戦の実相や歴史的教訓を正しく次世代に継承し、平和を希求する「おきなわの心」を広く伝えるため、県内外でシンポジウムや児童生徒等を対象としたワークショップを実施しました。事業の内容を、以下、5つの視点で報告をいたします。

次世代への継承

平和教育の授業やプログラムとして、おきなわの経験を届け、対話の時間を作りました。

イベントを通して出会う

子どもから大人まで、各層に届く場面・機会を考え県内外で実施しました。

シンポジウム等を通して県外へ発信

沖縄のことを知ってもらおうと同時に、全国の皆さまとの戦争や平和を考える時間を設けました。

平和教育教材

次世代の継承のためにも、教材やカリキュラム開発が重要であると考え、教育者の学びの場づくりを大事にしました。

広報活動

「おきなわの心」事業のうむい（思い）と、実施内容に関して発信し続けました。



目次

次世代への継承

- 5 学校向け平和教育プログラム
- 7 平和教育プログラム内容
- 8 ”数字”と”考え”にみる平和教育の意味
- 9 平和へのうむい（思い）
- 11 写真にみる授業の様子
- 12 教材紹介

イベント・対話を通して出会う

- 13 平和朗読講習会
- 15 平和朗読会 JICA沖縄
まなびフェスタ読谷
- 17 高校生国際平和ワークショップ
- 19 語り部へのインタビュー～瀬名波榮喜先生～
- 00

シンポジウム等を通して県外へ発信

- 23 まるごと1日平和の日スペシャル
～伝えよう沖縄のこころ～
- 25
- 28 沖縄のこころ 平和啓発シンポジウム実施報告
- 31 長野県・沖縄の大学生ゆんたく会

平和教育教材

- 33 平和教育指導者養成講座 戦跡フィールドワークin 読谷
- 34 教材「艦砲ぬ喰え残さー」
- 35 平和教育指導者養成講座 第32軍司令部壕
- 37 （写真）戦績フィールドワークを通じた学びin読谷
- 39 戦績フィールドワークマップ
- 41
- 43

広報活動

- 47 パネル展「展示物」
- 51 沖縄平和プロモーション事業「新聞記事」
- 53 メディア取材回数／協力団体数
- 00 沖縄平和プロモーション事業デジタル見る
アーカイブ

ごあいさつ

- 2 はじめに
- 55 おわりに

平和教育プログラム内容

以下のプログラムの基本形を持ちながら、対象者の年齢、授業の前後のねらいや目指したい方向性を大事にしなが、学校の要望に寄り添う形式とした。また、県外においては、沖縄を知ってもらうためのクイズも併せて取り入れた。以下の2冊の教材を主に活用した。12ページご参照。

世界の難民問題から沖縄戦までの学び



ねらい：世界の難民問題を導入して学ぶ。シミュレーション体験を通しながら、沖縄戦当時の戦争避難民として住む場所を追われることを経験する。戦争で命を落とした方々の経験、つながれた命の意味を考える。

手法：フォトランゲージ、シミュレーション体験、体験記を読む歌を通して、私はどんな未来を描いていいのか話し合い、全体共有を行う。

対象者：小学校4年生～大人

時間：90～120分

沖縄移民の学び～ハワイから豚がやってきた～



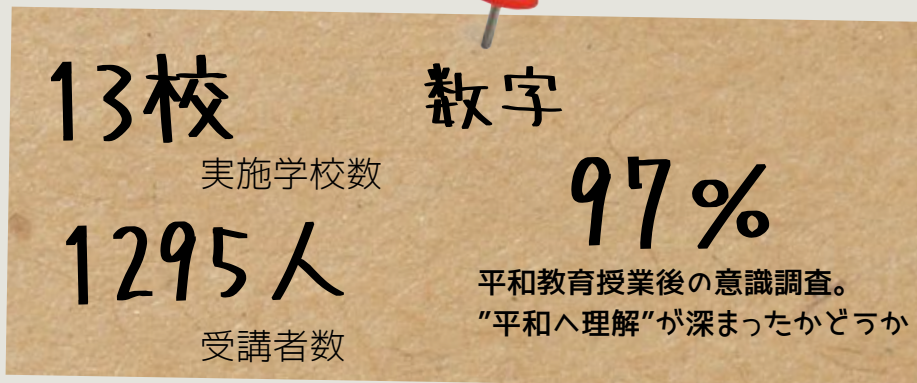
ねらい：沖縄移民・世界のウチナーンチュが海外に多く存在する沖縄の歴史がある。沖縄戦前後に、海外に渡ったウチナーンチュたちが、沖縄戦で様々なものを失った沖縄を救おうと救援物資を送る活動を学ぶ。戦後復興の様子を学ぶ。

手法：フォトランゲージ、映像視聴、体験記を読む、グループでの話し合い、発表。

対象者：小学校低学年～大人

時間：50～120分

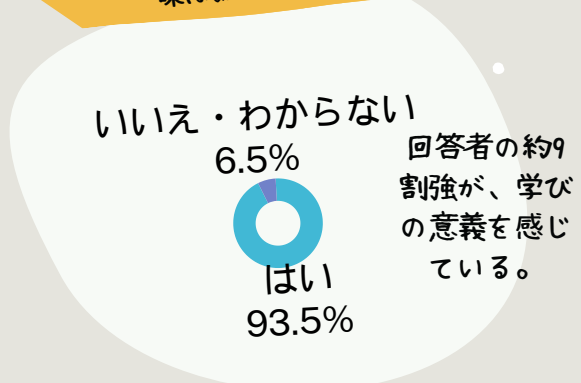
”数字”と”考え”に見る 平和教育の意味



1 世界は平和だ と思うか？

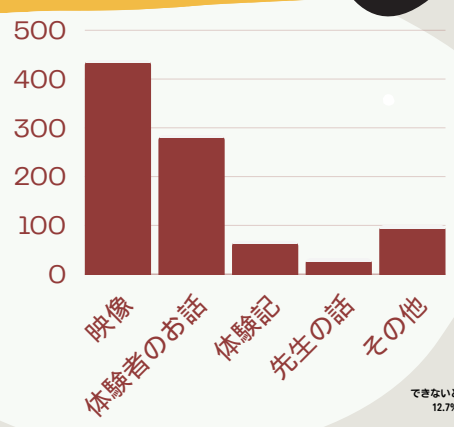


2 戦争や平和を学ぶことの意 味はあると思うか？

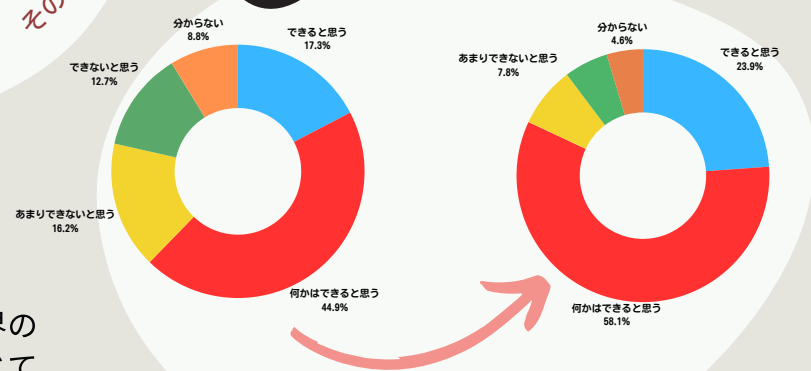


3 戦争や平和を学ぶことで、印象に 残っているものはなんですか？

回答者の住んで
いる地域と年齢
によって、映像
か、体験者のお
話かの回答が逆
転していまし
た。



4 何か世界を変えることができ ると思いませんか？



実施者のコメント：回答者の多くが、世界の
情勢を感じながら平和に関して不安を感じて
いる。併せて、学びの意義を感じながら、無力感
を乗り越える手段としての平和教育の学
びをそれぞれが導き出していると感じた。

できると思う・何かは出来ると思う 約
62%→82% (20%上昇)

学校向け平和教育プログラム

豊見城市立伊良波中学校

- 難民から沖縄戦
人の移動から考える平和
- ・ 実施日：6月15日
 - ・ 学 年：1年生
 - ・ 人 数：299人

南風原町立南風原中学校

- 世界に羽ばたく ウチナーンチュ
- ・ 実施日：9月15日
 - ・ 学 年：1年生
 - ・ 人 数：31人

北谷町立桑江中学校

- 難民から沖縄戦
人の移動から考える平和
- ・ 実施日：10月24日
 - ・ 学 年：3年生
 - ・ 人 数：129人

豊見城市立豊見城中学校

- 世界にはばたくウチナーンチュ
- ・ 実施日：10月27日
 - ・ 学 年：3年生
 - ・ 人 数：280人

琉球大学

- 沖縄戦
人の移動から考える平和
- ・ 実施日：11月14日
 - ・ 学 年：1年生 大学院生
 - ・ 人 数：30人

沖縄県立泊高校

- 難民から沖縄戦
人の移動から考える平和
- ・ 実施日：11月26日
 - ・ 学 年：1～3年生
 - ・ 人 数：38人

学校法人カトリック学園 海星小学校

- 難民から沖縄戦
人の移動から考える平和
- ・ 実施日：11月30日
 - ・ 学 年：5～6学年
 - ・ 人 数：25人

石垣市立真喜良小学校

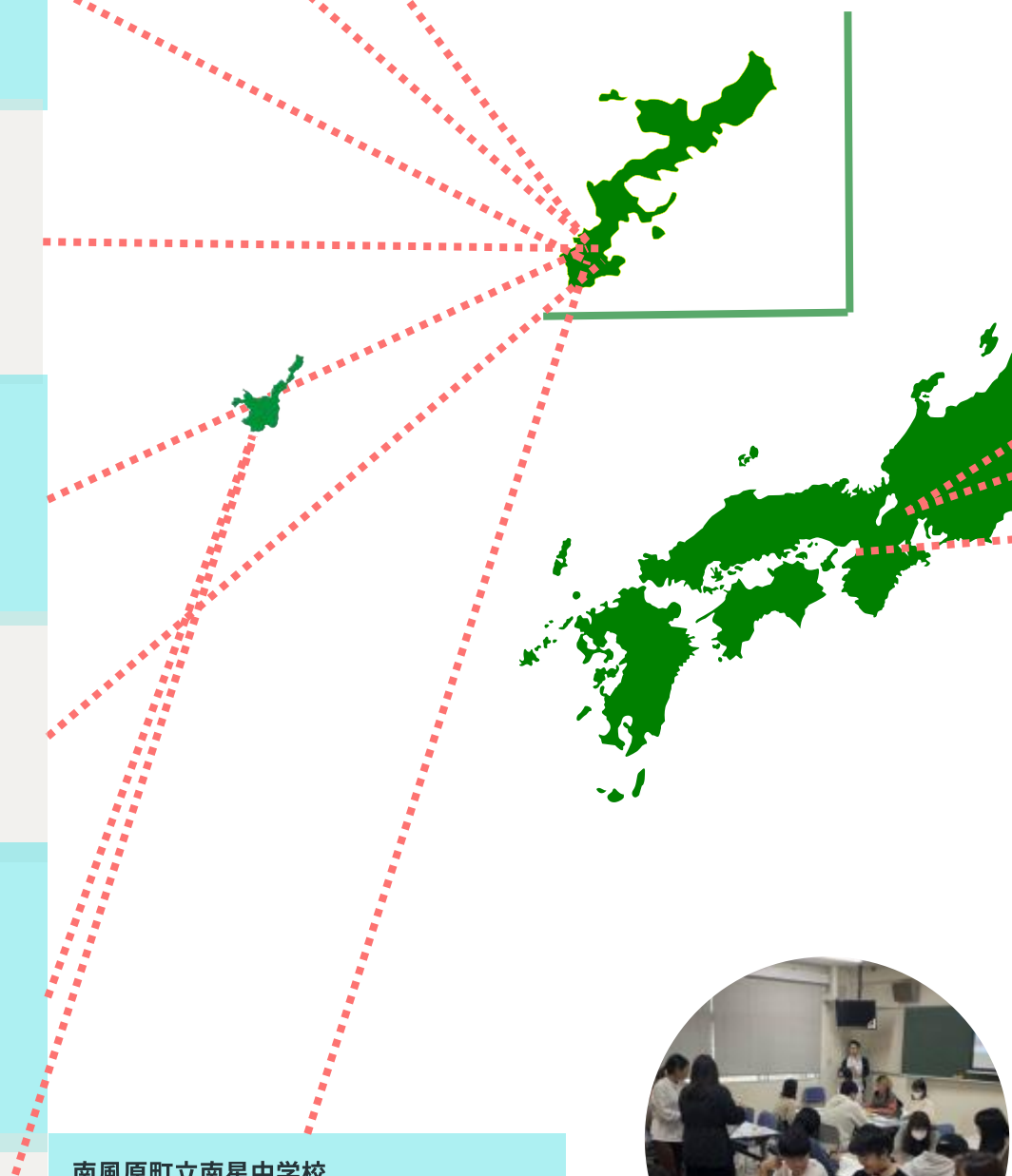
- 難民から沖縄戦
人の移動から考える平和
- ・ 実施日：1月11日
 - ・ 学 年：6学年
 - ・ 人 数：45人

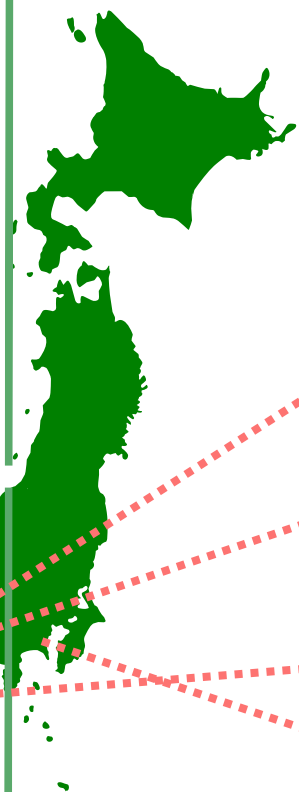
南風原町立南星中学校

- 難民から沖縄戦
人の移動から考える平和
- ・ 実施日：2月26日
 - ・ 学 年：2年生
 - ・ 人 数：214人

県内では、難民問題から沖縄戦前後の歴史的な史実を参加型学習で提供しました。
県外では、沖縄をまずは知ってもらうクイズの導入から沖縄戦の実相、慰霊の日の取り組み、沖縄の歴史をテーマに授業を提供しました。

プログラム参加者 合計1295人





近江八幡市立武佐小学校 (滋賀県)

沖縄のこころ、命の対話
～沖縄の戦争、平和のつくりかた～

- 実施日：9月21日
- 学 年：5年生
- 人 数：29人

近江八幡市立老蘇小学校 (滋賀県)

沖縄のこころ、命の対話
～沖縄の戦争、平和のつくりかた～

- 実施日：9月21日
- 学 年：6年生
- 人 数：28人

大阪市立大領中学校 (大阪府)

沖縄のこころ、命の対話
～沖縄の戦争、平和のつくりかた～

- 実施日：9月22日
- 学 年：3年生
- 人 数：88人

東京大学 (東京都)

第32軍司令部壕について
沖縄のこころ、沖縄戦～平和
ガマのワーク、艦砲め喰え残さー、
歌にみる戦後の沖縄

- 実施日：11月18日
- 学 年：大学1年生 一般
- 人 数：59人



授業後

平和へのうむ

児童生徒・
学生さん

戦争は、あかんこととか、
沖縄戦のことをもっと
色んな人に広めて
「こうゆうことがあったんや
で」って言って、戦争を
なくしていきたいです。
(武佐小学校 5年生)

自分たちが
どういう未来にして、
そのためにどういう行動を
取るのかを考えるのが
大切だと思った。
(老蘇小学校 6年生)

子どもたちは学習したこ
に、自分で考えることの
感することができた。何
満を言いがちな毎日だが
活が幸せだと感じるこ
間だった。他の授業でも
思を伝えようとして、拳
とや発表するときの声の
きくしようと、自分なり
る児童が増えた
(武佐小学校先生)

今回の授業を通して、
戦争時のことではなく、戦後にどのようなことがあり
今に至っているのかを
知ることが大切だと思いました。
(南風原中学校 1年生)

戦争を
少なくな
私たちが
受
絶対に単
というこ
伝えて
(琉)

みんなと仲良くしたり、
けんかをしないとかなら
できると思う。
(海星小学校 6年生)

僕は実際に
どんな事があったのかを
調べてその時の状況を
まるで僕は戦争を
体験しましたと
語れるくらい
知りたいです。
(伊良波中学校 1年生)

今
絶対

比嘉さんが作った歌に
すべてが込められているな
とも思いました。
これからはこの学びを
次の人たちに私たちが伝えていく番なの
でしっかり学んだことを覚えておきたい
です。(大領中学校 3年生)

し
(豊)

自分ができることは
ことで喧嘩しないこ
(南星中学)